

木々の緑がすっかり濃くなって、最早、夏としか言いようのない季節になってしまいました。4月に学校便りを出すことができず申し訳ありません。4月を振り返ってのお便りです。ところで、校長4年目になります本荘です。今年度もよろしく願いいたします。

新1年生104名を迎えました。

4月5日(木)入学式。今年もかわいらしい笑顔がいっぱいです。これだけ大勢が集まるとの会も初めてという子も多かったと思いますが、じっとしてられない子がいたらどうするかなど、事前に確認することもありましたが、本番ではそれは杞憂に終わりました。

今年も「おはようございます」「ありがとうございます」「ごめんなさい」の三つの魔法の言葉は同じです。翌日から、しっかり挨拶のできる子が大量いて、よし、これをずっと続けていくぞと改めて思いました。

これから、いろいろなことがあるに違いないと思うのですが、魔法の言葉を味方につけて乗り切っていきたいものです。

13日(金)の授業参観及び懇談会には、大勢の方に来ていただきました。本当にありがとうございます。

今年も、1年目の先生が3名います。ベテランの先生とは違い、経験値の高さで臨むわけではなく、逆に経験値が低いからこそ新しいことを吸収する柔軟性があるのかと思います。だからこそ、チーム対応が欠かせません。学年を中心にして、学校全体でクラスを支えていくという姿勢で臨んでいきます。いずれにしても、どのクラスも全く同じということはありませんが、縁あって出会った先生や友達とのふれあいを通して学んでいくことには変わりありません。ご家庭や地域の方々との連携を通して、みんなで子ども達の成長を支えていくという思いを共有できたらと願っております。

また、懇談会に先立って、次のような話をさせていただきます。

今年度の学校教育目標は、「心豊かに 生き生きと活動し 自ら考え共に学び合う子どもの育成」です。新学習指導要領の完全実施となる32年度に向けて「主体的・対話的で深い学び」をイメージして、「自ら学ぶ」先にある「共に学び合う」姿を目指します。

そのために、まず、最初のめあてとして、今

年度も、授業改善に向けての「学習規律の確立」、心を育てる第一歩としての「挨拶の励行」と「学級規律の確立」、安全・安心な学校づくりのために「学校の約束の徹底」をあげました。この点について、具現化する手立てを模索していきます。

その他にも、今年度から「特別の教科 道徳」が始まります。評価の在り方なども含めて学校研究として取り組んでいきます。

さらに、32年度への移行措置として、3年生以上の外国語活動が15時間増えます。小中一貫教育の在り方を探る研究の一環としての2年間の実践を通して、英語教育に関する授業力を高めていきます。

そして、その延長にある「楽しい学校」づくりに児童と学校だけでなく、ご家庭や地域の方々との協働によって進んで行けたらと考えております。よろしく願いいたします。

1年生を迎える会

26日(木)に、恒例の「1年生を迎える会」が行われました。6年生のエスコートで入場です。6年生の表情も最高です。先日の懇談会の日も、午前中1年生の懇談会が開かれている最中、6年生がほぼマンツーマンで1年生を連れて学校案内をしてくれました。6年生としての意識の変容が見られる瞬間です。



5年生から1年生へのプレゼントです。二宮小公認ゆるキャラ「ニノット」の絵が描かれたメダルです。もう既に、二宮小の伝統になりつつあるでしょうか。こうした継承されていく形を作っていくことの意義を大きく感じます。



1年生のお礼のダンス「ピカピカの1年生」

がかわいらしくも動きがキレキレで、素晴らしかったです。きっととっても楽しい気分でした。練習してきたんだなあと思います。運動会が楽しみです。